

ナンバリング	B②06	科目名	保育者論Ⅰ		担当教員	岩井真澄	
ディプロマポリシーとの関連性	①・②・③		担当形態	単独			
テキスト	資料を適宜配布する。			単位数 授業形態	1単位 講義	開講時期	前期
<p><b>講義概要</b></p> <p>■到達目標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保育者の役割と倫理について理解し、説明することができる。</li> <li>・保育者の制度的な位置づけを理解し、説明することができる。</li> <li>・保育者の職務内容について体験を通して学び、説明することができる。</li> <li>・保育者に求められる資質について考え、書き表すことができる。</li> </ul> <p>■授業の概要</p> <p>本授業では、保育者を志すにあたり、保育者とはどのような存在かについてじっくりと考えていく。自身がこれまでに出会った“保育者”や“先生”をふりかえるところから始め、保育者の役割や倫理、その制度的役割について学ぶ。また、保育者の職務内容や保育者に求められる資質を考え、保育者となるための道筋や必要な知識及び技術についても理解する。</p> <p>本授業で取り扱うテーマについて考える際、教育実習（幼稚園Ⅰ）での体験が生きてくるだろう。その体験を基にグループで話し合う機会を授業内に設け、体験から考え、学ぶことを大事にしたい。</p> <p>■授業計画</p> <p>第1回 オリエンテーション、これまでに出会った“保育者”“先生”をふりかえる          第2回 保育者の役割と倫理          第3回 保育者の制度的位置づけ          第4回 保育者の職務内容          第5回 保育者の職場文化と協働          第7回 保育者のキャリア発達と研修          第6回 保育者に必要な人権感覚と世間知          第8回 まとめ～保育者とはどのような存在か～</p> <p>■準備学習</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業後に授業内で学んだことを整理し、まとめる。</li> </ul> <p>■評価方法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業時間内に行われるグループディスカッションにおける積極性や発言内容 — 20%</li> <li>・コメントシート — 20%</li> <li>・期末レポート — 60%</li> </ul>							
参考文献	高橋貴志「これからの保育者論－日々の実践に宿る専門性－」萌文書林 「幼稚園教育要領解説」フレーベル館 「保育所保育指針解説」フレーベル館 「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」フレーベル館			特記事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・単位を修得できない場合、保育者論Ⅱは履修できません。</li> <li>【課題等へのフィードバック方法】コメントシートは、確認し次回授業時間内に教員からの感想を述べ返却する。期末レポートは、確認及び評価を行い返却する。</li> </ul>		
卒業・免許状・資格との関連	幼稚園教諭免許状必修 保育士資格必修			幼保	<p>教育の基礎的理解に関する科目</p> <p>保育の本質・目的に関する科目</p>		
実務経験のある教員等による授業内容							